

イノベーション創生センター主催
ビジネスアイデアコンテスト 2025



関西大学の研究成果を活用したビジネスアイデアコンテスト

ビジネスアイデアコンテスト“SFinX2025”

AUGUST 04, 2025 13:00-START

関西大学千里山キャンパス 尚文館1階

マルチメディアAV大教室

<スケジュール> (目安)

13:00 開会 挨拶
イノベーション創生センター センター長 石川正司 教授

13:10 エントリーチームによるプレゼンテーション

前半6チームの発表後 一旦休憩有

15:20 審査集計・オーディエンス賞投票

<休 憩>

15:40 協賛企業による会社紹介 ※五十音順・敬称略
・株式会社アイ・エレクトロライト
・ソフト産業プラザTEQS (公益財団法人大阪産業局)
・株式会社桃谷順天館

結果発表・表彰・写真撮影
全体講評

交流会 会場
イノベーション創生センター 1階 スターバックスコーヒーへ移動

16:25 <交流会>

17:00 閉会 挨拶 SFinX審査員長 滝沢泰久 教授

関西大学イノベーション創生センター

大阪府吹田市山手町3丁目3-35

TEL:06-6368-1250

E-Mail: kucic@ml.kandai.jp

関西大学の研究成果を活用した
ビジネスアイデアコンテスト

Social Science (社会科学), Natural Science (自然科学) など
様々なScience (科学) を融合して新しいビジネスXを提案しよう!
~SFinXのPuzzleに君はSolutionを提供できるか?~

表彰

最優秀賞 1チーム 副賞: 50,000円

優秀賞 2チーム 副賞: 30,000円

協賛企業賞 アイ・エレクトロライト賞
ソフト産業プラザTEQS賞
桃谷順天館賞

オーディエンス賞 参加者・観覧者の投票により決定

参加賞のボールペンについては、Intelligent Style株式会社様よりご提供いただきました。

審査基準

本審査 1チームプレゼン5分・質疑応答3分、7名の審査員による審査を行います。

<審査項目>

新規性: ほかの取り組みにはない新しい独自アイデアがあるか

的確性: 課題の技術を生かしたプランになっているか

市場性: 想定される市場の規模は大きいのか、成長が期待できるか

優位性: 想定される市場における競合製品やサービスに対して優位性があるか

表現力: プレゼンテーション内容はまとまっているか

協賛企業賞 協賛企業様独自の視点で審査いただきます。



エントリーチーム名 / ビジネスアイデア名

- 1 第二の自分by神5 / パーソナルLLMを用いた伴走型支援
- 2 MirAI / Mirror Attendance system (MAS)
- 3 CONNNNNECT / スタイルブリッジ
- 4 Q-up / 農HOW
- 5 寄り添い隊 / KAI
- 6 マルモ / MARUMOグラス
- 7 ひまわり / シコウノタネ
- 8 Socio Affective AI Lab / 職場Well-being支援AIシステム
- 9 みそだんGO / asMe
- 10 ブルアド / そなエール
- 11 RYO / RYO ~Remember Yourself Operation~
- 12 各位 / kidi



オーディエンス賞 投票フォーム



ご自身のチームには、投票しないでください。

ビジネスアイデアコンテスト"SFInX2025"審査員 ※順不同



＜審査員長＞
滝沢 泰久 教授
関西大学 環境都市工学部



＜副審査員長＞
潮 尚之氏
ITPC 代表



上所 克氏
りそな銀行
法人・プレミア戦略部 部長



竹枝 正樹氏
株式会社 Co-learning
代表取締役

国際電気通信基礎技術研究所(ATR)上級主任研究員を経て2009年に本学へ着任。無線ネットワークの自己組織化と集団知能の研究、およびその社会実装を行なっている。研究ポリシーは「最適・収束でなく、多様性と変遷の創発」である。趣味は年齢を考えず横乗り系スポーツで器用ではないため怪我が絶えない。

International Business Developmentの専門家として、シリコンバレー及び東京/大阪を拠点に、日米のベンチャー企業と日本企業との協業によるオープンイノベーションを推進。専門分野はオートモーティブ、センサ/デバイスAI, IoT, AgFoodTech, InsurTech及びモノづくりなど。また、Technology Commercializationの専門家として、大学発の技術シーズの社会実装や大学発ベンチャーの起業を推進するとともに、産官学連携を推進。

大阪大学卒業後、大和銀行（現りそな銀行）入行。法人営業を経て、2006年より法人ソリューション営業部（現ソリューションビジネス部）にてM&Aアドバイザリー業務に従事。2021年に同部の部長へ就任し、M&Aアドバイザリー業務に加え、M&Aファイナンス業務を所管。2023年より法人店舗支店長を経て、2025年4月に法人・プレミア戦略部長へ就任。ベンチャー支援業務を所管。

2005年マツダ株式会社入社。主に知的財産部に権利活用ビジネス・ナレッジマネジメント等に従事した後、組織・人材開発コンサルティング会社へ転じ、大企業の制度設計、研修企画・実施業務に従事。独立後は複数社の取締役や顧問を歴任。2018年に株式会社Co-learningを設立し、新規事業×リーダー育成を軸に、大企業・経済界・大学等での事業化・人材育成を推進。2023年より国立大学法人山形大学客員教授。



宮城 圭介氏
THE SEED Venture Capitalist

2015年に地方銀行に入行。東京を中心とした法人融資担当者として新規開拓業務の後、金融系VCにてファンドレイズとLPとのリレーション構築業務に従事。その後ユーザベース社にて、「INITIAL」事業のSales Leaderとして事業開発を経験。2022年THE SEEDに参画し、これまでの事業会社ネットワークを活かした投資先支援と、新規投資のためのソーシング業務を担当。また、幼少期から大学まで野球に打ち込んだ経験からアスリートの創業支援なども行う。2024年3月に公開した3号ファンドでは、ファンドレイズと投資活動を担う。



山西 良典 教授
関西大学 総合情報学部

22012年に名古屋工業大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程修了。2012年～2020年、立命館大学情報理工学部にて助教、講師。この間、UBC（カナダ）にて客員助教。2020年関西大学 総合情報学部准教授、2024年より同教授。人工知能のエンタテインメントへの応用を専門とし、同分野での日本代表を務める。企業やアーティストとの共同研究など社会実装をにらんだ実践的な活動も多い。



アイエドゥン エマヌエル 准教授
関西大学 システム理工学部

アフリカ・ベナン共和国出身。2016年大阪府立大学卒業、2018年同大学大学院人間社会システム科学研究科修士課程修了。同年より同大学院同研究科博士後期課程入学及び日本学術振興会特別研究員(DC1)。2020年3月博士(情報学)修得。2020年4月より、本学に着任。研究領域は知的対話システム。特に計算機システムの感情知能の高度化による計算機から人への情動伝染や、会話意欲の向上に与える影響に関する研究に従事。

協 賛

Intelligent Style



iELECTROLYTE
KANSAI JAPAN



桃谷 順天 館
SINCE 1885

後 援

吹田市（大阪府）